

(仮称) 石狩・八幡小学校設立準備委員会 第5回会議【質疑要旨】

・日時 平成30年3月9日(金) 18:30~19:32

・会場 八幡コミュニティセンター

・出席者

〔保護者〕

熊倉 哲也 八幡小学校PTA会長  
 鈴木諭美江 聚富小中学校PTA副会長  
 熊倉 可菜 くるみ保育園父母の会  
 工藤 隆司 聚富保育園 父母の会

〔学校関係者〕

原田 伊織 石狩小学校校長  
 三島 哲 八幡小学校校長  
 青山 司 聚富小中学校校長  
 本田 明美 石狩中学校校長

〔学識経験者〕

戎屋 健一 学校支援地域本部事業・地域コーディネーター

〔学校支援推進員〕

中井 元 石狩小学校学校支援推進員  
 菊地 功 八幡小学校学校支援推進員

〔町内会代表者〕

牧野 勉 むつみ町内会会長  
 朝倉 勲 虹が原町内会会長

※出席 13名

※欠席：釣本 明雅 石狩小学校PTA会長  
 富木 智之 石狩中学校PTA会長

〔教育委員会事務局〕

佐々木生涯学習部長  
 松井教育指導担当次長  
 安崎総務企画課長  
 佐々木学校教育課長  
 照山指導担当参事  
 工藤文化財課長  
 清水市民図書館副館長  
 松永総務企画課主幹  
 古屋総務企画課主査  
 加藤総務企画課施設担当主査  
 石黒学校教育主事  
 櫛引こども家庭課長  
 江畑こども家庭課こども家庭担当主査

※傍聴者 0名

● 委員長あいさつ

● (仮称) 石狩・八幡小学校基本計画(案)の修正協議について

事務局(松永総務企画課主幹)より、

① 別添「基本計画(修正案)」について、

- ・ P43～P44 「(4)第4回会議」の主な確認事項・質疑など
- ・ P44 「保護者・地域説明会」H30.2.22 19時 親船会館にて開催の内容を追記した。

② 別紙「開校に向けた工程表(H30.3.9時点)」について、

- ・ 基本計画修正案(上記①)の了承をいただいた場合、3.27の教育委員会会議3月定例会で議案提出・決定し、4.18の市議会建設文教常任委員会で報告すること。
- ・ 次回の第6回会議において、会議前に八幡小校舎の現地視察を行い、会議では校名の募集要項を決定すること。  
を説明した。

[質疑応答]

(戎屋委員長)

ただ今、事務局から第4回の会議の中で話し合われた内容を盛り込んだ上で、基本計画の修正案として決定したい旨の説明があった。委員の皆様からのご意見等がありましたら出していただくようお願いしたい。もしよろしければ、最終的には設立準備委員会として了承し、今月27日の教育委員会会議で最終的に決定される運びとなるがいかかが。

(A委員)

次回の会議時に予定している八幡小学校の現地視察の開始・集合時間は、何時頃を予定しているか。

(松永総務企画課主幹)

5月の2週目か3週目に、第6回の会議を開催したいと考えている。会議前の視察時間については、夕方5時に八幡小学校にお集まりいただき、30～40分程度の視察時間をとって、その後学校に入って、会議を行いたいと考えている。開催日については、後ほど委員長から提案していただきたいと思う。

(戎屋委員長)

ただ今の事務局からの説明にあった時間設定でよろしいか。

(出席委員、了承)

(戎屋委員長)

前回の会議で学校を視察することについて提案があり、市教委事務局からも後押しをしていただいた。新しい学校をスタートするにあたり、私たち設立準備委員会が子どもたちのために施設を整えてあげたいという思いを伝えることは大切だと考えている。事務局から予算面でかなり厳しいという説明があったが、施設が充分でない状況でスタートすることは残念な気がするので、限られた時間ではあるが、私たちが努力して市に伝え、市でも工夫していただき、予算措置を頑張っていたきたい。それをしないと私たち準備委員会の意味がないのではないかと考えている。そして、石狩小と

八幡小の統合に向けた準備委員会がこんなことをしているんだということを多くの方に知っていただき、関係する方々にもご協力をいただけるよう、私たちの気持ちを伝えることができればと思っている。

(戎屋委員長)

P43～P44の追記箇所も含め、基本計画の修正案について、ご質問やご意見はありませんか。

質問・意見なし

(戎屋委員長)

それでは、この修正案をもって基本計画案を決定する。

(出席委員、同意)

## ● 校名の募集について

事務局（松永総務企画課主幹）より、別紙「校名の募集について～募集要項（案）～」を説明した。

(戎屋委員長)

最終的な校名の募集要項を決めるのは次回（第6回）の会議となる。今日は委員の皆さんから事務局からのたたき台案についての率直な意見を出していただいて、次回で募集要項を決める目途が立つようになればと考えている。

(B委員)

応募期間がちょっと短いような気がしたのと、このような日程を組んだ事情はあるのか。

(松永総務企画課主幹)

事前の周知を行うことも考え、募集期間を4週間として設定した。教育委員会は土日閉庁しているので、6月4日（月）から6月29日（金）と示したが、6月1日から30日までという考えもある。

(戎屋委員長)

あまり長い期間を設定したからといって、良い校名案が出てくるとは限らないと思う。事前に募集するという情報が流れていれば、その期間の中で校名案を考えて、応募することができると思うがいかがか。

(B委員)

事前に周知をしておいて、募集期間はこのようにということですね。例えば5月の市広報などで周知することになるのか。

(佐々木生涯学習部長)

5月の広報に掲載するためには、原稿を3月中に出して最終校正を4月中に行わなければならない、日程的に厳しいことから、募集が始まる前に新聞などの報道機関を使って校名の募集があるというニュースを出していただくという手法もあると考えている。

また、応募期間についてだが、現在、市が行っているパブリックコメントの意見の募集期間は原則

1ヶ月となっており、意見募集の期間の基準の一つとしてお考えいただければと思う。

(C委員)

応募資格と方法について、募集する地域を限定するか、市内全体とするかによって、やり方も違って来るし、応募期間については学校に関わることで関心が高いので、決して短い期間だとは思わない。

応募資格の範囲について、自分としては案2（当該小学校の児童や先生、通学区域に居住している方）がいいと思っているが、いずれも周知が大事だと思っている。

(A委員)

市役所に北海道新聞の記者が常駐しているので、同新聞を通じた告知、記事の掲載はできる。町内会の回覧は、毎月の15日頃と月末に印刷物が送られてきてから各班で回覧されるが、募集が始まる時期とうまく合わないことも考えられる。そこで提案になるが、町内会の回覧には、各家庭に配られる学校便りが必ずあるので、保護者以外の地域の方も見られるように学校便りに告知してもらったらいいのではないかと思う。周知を工夫して機運を高めていくことが大切だと思う。

(戒屋委員長)

応募資格についてご意見をいただいた。案1（市内在住の方）と案2が出ていますが、特に児童からも募集するという点についてはいかがですか。

(C委員)

基本的にはこの設立準備委員会で審議するのだから、考えもしなかったような優れた校名のアイデアが出てくるかもしれないので、結果として子どもが出した校名案に決めるか、決めないかは別として、子どもの意見は聴いたほうが良いと思う。

(B委員)

学校の先生は日々忙しい中で大変かもしれないが、校名の募集について強制ではないかたちで子ども達に呼びかけをしていただいて、子ども達が自主的に出したいという機運を作っていただいた中で集約していただければと思う。

(戒屋委員長)

委員の一人としての意見になるが、例えば校章のように図案化されたもので、いくつかの図案の中から一つを選ぶということなら、子ども達の意見を聞くこともやぶさかではないと思うが、校名については2校が長い歴史を歩んで、統合して新しい学校になるというこれまでの経過を考えたとき、校名を決めるのは大人の責任でないかと思う。その中で関心がある子どもは、家族で話し合うなどして自分の意見を出すかもしれないが、私は今回の校名を子どもから募集することについては、正直しっくりしない気持ちがある。

(D委員)

歴史や今までの伝統もちろん大切だが、これからの伝統を作っていくのは子ども達である。それを考えると、全てを大人だけで決めて与えるというよりは、子どもの意見を聴くことも必要だと思う。

例えば最近、2020東京オリンピックのキャラクターを選ぶために、全国の小学校を通じて子どもの意見を聞くための投票を行ったが、子ども達が気持ちよく学校へ通えるようにということを考えると、募集締切後に集約をして、この設立準備委員会の中で明らかに相応しくない校名案は候補から除いて、ある程度抽出した上で、最後に子ども達に投票させる方が良いと思う。

(C委員)

基本的には今、話があったように、これからの新しい学校の歴史を作っていくということも大切だし、これまで両校に関わった先人の大人方に対しても恥ずかしくない校名を残すということのためにも、最終的には子どもの意見は聴いた方がいいと思う。

(戒屋委員長)

応募資格についての私の考えは、年齢的なことは関係無しとして、3つの小学校の校区及び市内在住の方とするのがいいと思う。それは、石狩小や八幡小の卒業生が今回の統合を見守っている中で、子ども達が未来の学校をつくるというのは勿論だが、未来は過去から積み上げられてきているのだということに焦点を当てなくてはならないと思うからである。子ども達の意見を聴く機会は大切にしなければならないと思うが、最終的に子ども達の意見をそのまま通すということは、それでいいのかなという気持ちがしている。

(A委員)

私は、公募してもそれ程多くの校名案は集まらないと思っている。範囲を狭くせずに市内在住の方から募集するということがいいのではないだろうか。

(B委員)

子どもからの意見は学校単位で集めてもらって、応募資格は市内在住の方とし、一人一点の募集として想いをこめたものを応募していただくようにした方がいいと思う。また、子どもの意見を聴くという捉え方については、応募するということが意見を聴く機会を設けられているので、最終決定を児童の投票にすることにしなくても、この委員会の中で決めるということもいいのではないかという気がしている。旧紅葉山小と旧若葉小を統合したときの、現在の双葉小という校名に決めたときはどうだったのかお聞きしたい。

(安崎総務企画課長)

双葉小という校名は、子ども達から募集して出された32の校名案を、5案に絞って子ども達が投票して決められている。

(B委員)

学校が各学年各学級で児童の意見をしっかり聞いて応募を促してくれたら、子ども達の意見はしっかりと残るので、委員長がおっしゃられた「大人が歴史や過去のこと、未来のことなどを含めて考えた上で最終的に選定する」という意見に賛成である。

初めは投票という意見を挙げさせていただき、投票がいいのかなと思っていたが、過去と未来をつなぐという意味では、大人が最終判断を下したほうが間違いないという気持ちがしてきたし、選定にかかる時間についてもこの委員会で決めるならスムーズに進められるのではないかと思う。

(D委員)

子ども達の意見をどのように聴くかについて、自分はこれまでの両校の歴史や伝統などを考えた上で、この委員会で候補をいくつか絞って、子ども達の投票で決定するのがいいと思う。

(戒屋委員長)

これまでいろいろな意見を出していただいた。子ども達からの募集について、学校単位で応募していただくという意見だったが、校名募集について学校が子ども達に伝え、指導してもらうということですね。

(B委員)

「新しい学校に生まれ変わることで、校名を募集するので応募したい子は出してください。学校に応募箱を置きます」という形で、出したい子はきちんと出してくると思う。担任の先生が「みんな書きなさい」というような強制ではなく、子ども本人の意思で出してもらうために、応募用紙を学校で配っていただくというのが児童の意見を聴くにはいいと思う。

(戒屋委員長)

応募資格として、募集する範囲は市内在住の方とし、応募点数は一人一点とすることでよろしいか。また校名の選定方法について他にご意見はないか。

(他の意見なし)

(戒屋委員長)

応募のあった校名案を子ども達や地域の方にお知らせして、その後でこの設立準備委員会で校名の候補として相応しい上位何点かの案を決めるという方法もあると思う。その後の最終決定の方法について、今日いただいたご意見をもとに次回の会議で決定していきたいと思う。

## ● その他

保健福祉部こども家庭課（榎引課長）より、「つくしクラブ（石狩小児童の放課後児童クラブ）の移転」について説明した。

- ・老朽化している同クラブの移転先として、①石狩小学校の校舎内 ②石狩中学校の管理職住宅 の2案に絞り、昨年11月に同クラブに通う子どもの保護者を対象にアンケート調査を行った。
- ・調査内容として、①②の特徴、グラウンドや体育館を使えるかどうか、クラブの広さ（面積）、地理的状況、建築年などの情報を提供したところ、①②それぞれ約半数に分かれる結果となった。
- ・また、この4月からの新入学児童で、新たに同クラブに通う児童の保護者からの意見も聴くため、再度アンケートを行う予定である。
- ・このほか、保護者も含めた地域の声を聴く機会として、4/5（木）18:30～ 親船会館にて、意見交換会を開催する。
- ・これらを踏まえ、本年4月中を目途に移転先を決める予定で考えている。

(質問・意見なし)

## ● 次回の開催について

戒屋委員長より、開催日時等について提案された。

- ・5月15日（火）、17時に八幡小学校に集合して、学校施設の視察を行い、その後引き続き18時より第6回会議を行う。
- ・議題は、校名の募集要項の決定と、学校施設の改修についての要望事項をまとめて、今後、市へ要望していく段取りで進めていきたいと考えているので、宜しく願いたい。

会議録署名

上記会議の経過を記録し、その相違ないことを証するため、ここに署名します。

平成30年 5月15日

(仮称) 石狩・八幡小学校設立準備委員会

委員長 戎屋 健一